

全国で警察官を騙る詐欺電話 が多数発生しています

3月19日付の全国版新聞報道・千葉県警察&柏警察署通報より

今、全国的に警察官を騙(かた)っての特殊詐欺事案が急増しており、今年1月からの二ヶ月で1,039件(警察庁発表の速報値)、被害金額は約106億2千万円(同庁発表)となっています。



その大きな特徴は、これまでに犯罪集団がよく使用する電話番号の頭に+1, +44等の「+(プラス)」が付いた番号から発信されるケースに加え、警察署の番号の特徴である後ろの番号表示が「0110」となっていることで、警察署からの連絡であることを偽装した事案も多く通報されています。これらは「スプーフィング」といわれ、相手に実在する本物の番号と認識させる手口です。

偽警察官



3月12日、愛知県の女性が、県警察本部代表番号表示の女性警察官を名乗る人物から「あなた名義の口座が不正に開設された。マネーロンダリング(資金洗浄)の犯罪容疑がかかっている」と連絡を受け、結果250万円を騙し取られています。

また、以前の本紙面でもご案内の、警察手帳や逮捕状を実際にSNSのビデオ機能を使って示し、さも本当の事象と確信させ、その後お金の支払いや個人情報を盗み取る手法が数多く報告されています。裏面掲載の画像は、警察庁ホームページで紹介されている、実際に犯罪に使用された動画を静止画像として記録したものです。

もしこうした電話を受けたら、相手にしない・通話を切る、或いは、相手の警察官の所属署や部署名、警察官 ID 番号(警察署員認識番号)などを聞き出しておきましょう。👉ニセモノなら、その場で電話を切るはずです。また、不安に感じたら、お近くの警察署（110 番または#9110）へ電話し、警察署員の方にご相談ください。それが最善の対策です。

実際に犯罪に使用された警察手帳や逮捕状を示す画像



ニセの警察官と警察手帳

こちらの画像提供は全て「長崎県警察本部」
警察庁特殊詐欺対策ページから引用



(ニセの逮捕状)

本物の警察署（員）はアプリや SNS 機能でこうした提示行為は絶対しませんので、こうした行為を相手がしたらニセモノと確信してください。